

バックナンバー

(特集一覧)

2017
(Vol.28)

8月号
(No.8)

特集Ⅰ 補助循環の最近の進歩と 近未来の展望 2017

許 俊鋭 編

- 短期補助システム
ニプロ VAD の上手な使い方 木下 修
補助人工心臓としての遠心ポンプの臨床使用
田ノ上禎久ほか
カテーテルタイプ補助人工心臓— IMPELLA —の将来展望 西村 隆
CARDIOHELP 欧米並みの呼吸不全治療成績を目指して 市場晋吾ほか
新しい日本の PCPS システム 北村 律
- 長期補助システム
ポンプポケット作製不要な小型植込型左心補助人工心臓
— Jarvik 2000[®], HVAD[®] — 戸田宏一
国産補助人工心臓の新しい可能性
— EVAHEART の小型化、体外型 EVAHEART (EVAD) の開発 — 本村 禎

特集Ⅱ 透析量を正しく評価しよう 第2弾 —透析間の血中濃度変化から算出する 指標—

峰島三千男 監

- 尿素産生速度 (G), 蛋白異化率 (PCR), G/V 峰島三千男
- 栄養関連指標 内藤善隆ほか

9月号
(No.9)

特集Ⅰ ハイフローセラピーの実践

磨田 裕 編

- ハイフローセラピーの原理と治療効果の実践 今中秀光
- 文献的にみたハイフローセラピーの考察と有用性 長谷川隆一
- ハイフローセラピー施行によるメリット・デメリット
①患者使用面からみたメリット・デメリット 芹田晃道
②コスト面からみたメリット・デメリット 春田良雄
③業務面からみたメリット・デメリット 小山昌利
- ハイフローセラピーにアラームは必要か? 近田優介ほか

特集Ⅱ 透析量を正しく評価しよう 第3弾 —透析液廃液から導出される指標—

峰島三千男 監

山下明泰 著

10月号
(No.10)

特集Ⅰ 医用テレメータの使用環境の整備 —有効に運用するために—

廣瀬 稔 編

- 医用テレメータの電波管理における臨床工学技士の役割 加納 隆
- 医用テレメータの使用状況、チャンネル管理の実際と課題 山口 智
- 医用テレメータに関連するトラブルとその対策
他施設からの電波混入① 吉山潤一
他施設からの電波混入② 田村啓修
アンテナケーブル末端における電波減衰 丸山和紀
LED 照明の放射雑音による医用テレメータの受信障害

石田 開

■ 途切れない医用テレメータのためのアンテナ配線

村本能也

特集Ⅱ 透析量を正しく評価しよう 第4弾 —1週間当たりの治療指標—

峰島三千男 監著

11月号
(No.11)

特集Ⅰ ICU における患者アセスメント

相嶋一登, 磨田 裕 編

- 日本版敗血症診療ガイドラインにおける人工呼吸療法と血液浄化療法の位置付け 松田直之
- ECPR における VA ECMO・人工呼吸・血液浄化療法の患者アセスメントと管理 三木隆弘
- 重症呼吸不全に対する VV ECMO 管理と患者アセスメント 佐藤 望
- 敗血症性ショックに対する人工呼吸療法・腎代替療法の管理と患者アセスメント 森實雅司
- ICU における患者アセスメントと診療記録の実際 開 正宏

■ 臨床工学技士業務の実態 —ICU を中心とした夜間・休日の業務状況— 奥田晃久 [関連記事]

- ・ (一社) 日本集中治療医学会による「集中治療に携わる臨床工学技士の倫理綱領」 木村政義
- ・ 臨床工学技士による診療記録記載の必要性と教育とは 相嶋一登

特集Ⅱ 透析量を正しく評価しよう 第5弾 —キネティックモデルの基礎—

峰島三千男 監

三輪真幹 著

12月号
(No.12)

臨床工学技士法制定 30 年

川崎忠行 編

- 臨床工学技士誕生 30 年
—臨床工学技士業務および取り巻く医療環境の変化— 川崎忠行
- 臨床工学技士のあるべき姿—期待すること—
血液浄化業務 内野順司
医療機器管理業務 高倉照彦
手術室業務 加藤伸彦
- 臨床工学技士を目指す学生に期待すること
臨床工学技士養成校から 出淵靖志
臨床現場で働く臨床工学技士から 北本憲永
- 臨床工学技士のこれからの見据えて
—手術室専門制度の構築に向けた課題と展望— 萱島道徳

2018
(Vol.29)

1月号
(No.1)

内視鏡外科手術関連装置の 安全管理の充実

廣瀬 稔 編

- 内視鏡外科手術関連装置の安全使用と課題
外科医の視点から—外科医の意識改革と多職種協働—

看護師の視点から—安全管理を意識した専門技術の提供—
渡邊祐介ほか
横沢京子

臨床工学技士の視点から
—トラブルや危険性を熟知したうえで行う点検と教育—
石田 稔

- 内視鏡外科手術関連装置の保守点検の実際
 - ① 医療機関での保守点検の実際 副島 徹
 - ② メーカ修理の実際 加藤雅士
- 手術支援ロボットの導入から保守点検の実際
 - ① 導入から運用まで 山下由美子
 - ② 保守点検の実際 立野 聡

【関連記事】

- ・ 経尿道的切除術時の灌流液と電気メスの今昔 廣瀬 稔

2月号 (No.2) カテーテルアブレーション治療の基礎知識

廣瀬 稔 編

- 心臓電気生理学的検査の基礎 橋本直明ほか
- 心内電気現象測定法の基礎 永岡正浩
- カテーテルアブレーション治療の実際 内藤滋人
- 心臓カテーテル室での臨床工学技士の役割と展望
—カテーテルアブレーション治療へのかかわりと新人教育— 丹生治司

- カテーテルアブレーション治療に用いる装置の原理・構造と取り扱い上の注意点
 - ① 3次元マッピングシステム 縮 恭一
 - ② アブレーション装置および関連機器 壺井里恵子
 - 心臓カテーテル室に必要な電源設備の知識 奥村雅美
- 【関連記事】
- ・ カテーテルアブレーションに関する施設基準、および資格要件 編集部

3月号 (No.3) 「病院電気設備の安全基準：JIS T 1022」の大改正

加納 隆 編

- 医用室における電気設備の考え方
—JIS T 1022 を中心にした規格・基準— 小野哲章
- JIS T 1022 のおもな改正内容とそのもつ意味 加納 隆
- 新たに定義された「無停電非常電源」と無停電電源装置(UPS)の仕組み 羽田 司
- 非接地配線方式の内部構成と仕組み 奥村雅美
- 東日本大震災後の計画停電で学んだこと 新 秀直
- 病院電気設備で起こり得るトラブル事例①
—一般病棟における ME 機器使用の問題点— 酒井基広
- 病院電気設備で起こり得るトラブル事例②
—電源の種類による問題点— 高倉照彦

4月号 (No.4) 呼吸管理入門 —はじめての現場で困らないために—

磨田 裕 編

- 尾崎塾式 血液ガスを直感的に読み解く 尾崎孝平
- 人工呼吸器の換気モード
—3つの基本モードを押さえよう— 相嶋一登
- 酸素療法の基礎
—治療の目的と種類・適応・有害性を押さえよう— 古田島 太
- 酸素療法の新潮流 HFNC を押さえよう 古田島 太
- 加温加湿の基礎
—吸入気湿度・温度の関係から臨床での諸問題までを押さえよう— 磨田 裕

- 人工呼吸管理中の合併症
—患者の社会復帰につながる予防策を押さえよう— 藤本潤一
- 人工呼吸中の鎮痛・鎮静
—適切な痛み対策を押さえよう— 布宮 伸
- 必ず役立つ用手換気器具の基礎知識 窪 孝充

5月号 (No.5)

特集Ⅰ 血液浄化療法入門 —原理と臨床の基礎を知る—

篠田俊雄 編

- 血液浄化療法に应用されている原理と物質除去の指標 小久保謙一
- 血液浄化療法の臨床効果の特徴と治療指標
 - 血液透析, 血液濾過, 血液透析濾過 久野 勉
 - 腹膜透析 中元秀友ほか
 - 血漿浄化療法: 血漿交換法, 血漿吸着法 岡戸丈和ほか
 - 血液吸着療法 遠藤善裕
 - 持続的腎代替療法 花房規男

特集Ⅱ わが国における透析用原水の 実態調査結果

内野順司ほか

6月号 (No.6)

特集Ⅰ 人工心肺入門

許 俊鋭 編

- 心臓血管外科手術と体外循環 竹谷 剛
- 人工心肺装置—仕組みと役割— 見目恭一
- 人工心肺に関する安全装置と周辺機器
—役割と注意事項— 安野 誠
- 体外循環の実際 安田 徹
- 体外循環中に使用するモニタ 山城知明
- 体外循環の重大事故とその対処法 百瀬直樹

特集Ⅱ 補助循環

—各種治療法の歴史から最新知識まで—

許 俊鋭

7月号 (No.7)

臨床工学技士の働き方・ キャリアアップ

嶋津秀昭 編

- Part 1 養成施設卒業後の道
 - 病院で働く 中島あゆみ
 - クリニックで働く 金岡泰行
 - メーカで働く 古関正俊
 - 大学院へ進学する
 - ① 養成施設卒業後すぐに進学 五十嵐 友
 - ② 医療現場を経て進学 長江祐吾
 - 教員として働く 高橋良光
 - 行政機関で働く 武内彬正
- Part 2 学会専門認定によるキャリアアップの道
 - 血液浄化専門臨床工学技士 藤平雅紀
 - 日本アフェレンス学会認定技士 山本裕子
 - 4学会合同体外循環技術認定技士 吉田幸太郎
 - 不整脈治療専門臨床工学技士 芳森亜希子
 - 呼吸治療専門臨床工学技士 小金乙起
 - 高気圧酸素治療専門臨床工学技士 向畑恭子
 - 高気圧酸素治療専門技師 灘吉進也
 - 臨床 ME 専門認定技士 藤井清孝
 - 手術関連専門臨床工学技士 田尾伸幸
 - 医療機器情報コミュニケーター (MDIC) 渡邊雅俊